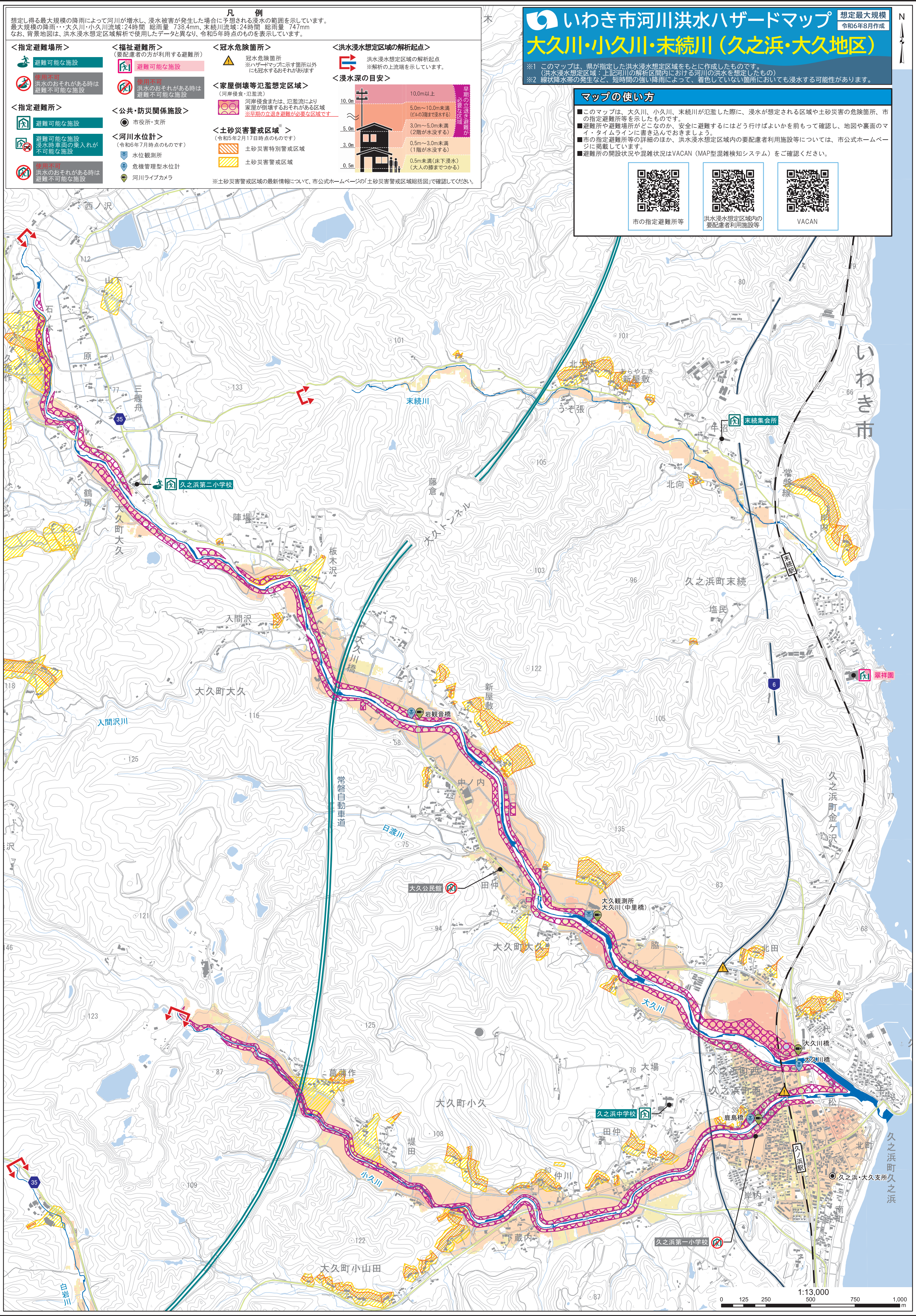




凡 例

想定し得る最大規模の降雨によって河川が増水し、浸水被害が発生した場合に予想される浸水の範囲を示しています。
最大規模の降雨・・・大久川・小久川流域：24時間 総雨量 738.4mm、末続川流域：24時間 総雨量 747mm
なお、背景地図は、洪水浸水想定区域解析で使用したデータと異なり、令和5年時点のものを表示しています。

＜指定避難場所＞

避難可能な施設

洪水のおそれがある時は避難不可能な施設

＜指定避難所＞

避難可能な施設

避難可能な施設
浸水時車両の乗入れが不可能な施設

洪水のおそれがある時は避難不可能な施設

＜福祉避難所＞
(要配慮の方が利用する避難所)

避難可能な施設

避難不可能な施設

＜公共・防災関係施設＞

市役所・支所

水位観測所

危機管理型水位計

河川ライブカメラ

＜河川水位計＞
(令和6年7月時点のものです)

＜冠水危険箇所＞

冠水危険箇所
※ハザードマップに示す箇所以外にも冠水するおそれがあります

＜家屋倒壊等氾濫想定区域＞
(河岸侵食・氾濫流)

河川侵食または、氾濫流により家屋が倒壊するおそれがある区域
※早期の避難が必要となる区域

＜土砂災害警戒区域＞
(令和5年2月17日時点のものです)

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

＜洪水浸水想定区域の解析起点＞

洪水浸水想定区域の解析起点
※解析の上流端を示しています。

＜浸水深の目安＞

10.0m以上
5.0m～10.0m未満
(1階の3階まで浸水する)

3.0m～5.0m未満
(2階が水没する)

0.5m～3.0m未満
(1階が水没する)

0.5m未満
(床下浸水)
(大人の膝までつかる)

※土砂災害警戒区域の最新情報について、市公式ホームページの「土砂災害警戒区域総括図」で確認してください。

いわき市河川洪水ハザードマップ

想定最大規模
令和6年8月作成

大久川・小久川・末続川（久之浜・大久地区）

※1 このマップは、県が指定した洪水浸水想定区域をもとに作成したものです。
(洪水浸水想定区域：上記河川の解析区間内における河川の洪水を想定したものの)

※2 線状降水帯の発生など、短時間の強い降雨によって、着色していない箇所においても浸水する可能性があります。

マップの使い方

■このマップは、大久川、小久川、末続川が氾濫した際に、浸水が想定される区域や土砂災害の危険箇所、市の指定避難場所等を示したものです。

■避難所や避難場所がどこなのか、安全に避難するにはどう行けばよいかを前もって確認し、地図や裏面のマイ・タイムラインに書き込んでおきましょう。

■市の指定避難場所等の詳細のほか、洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設等については、市公式ホームページに掲載しています。

■避難所の開設状況や混雑状況はVACAN（MAP型混雑検知システム）をご確認ください。

市指定避難場所等

洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設等

VACAN